

センバツ出場に歓喜の声

OBや野球関係者からも

赤鬼の春 11



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金龜町4番7号

吉本孝祐君

吉本孝祐君(3-4)は「出場が決定したときはとにかくうれしかった。今度はスタンドで応援するのが楽しみ」と頬を緩めた。また「甲子園で戦える機会はなかなかないので、夏に活かせるように全国の強豪たちと競い合っている。努力を怠らず、最後まで全力で頑張ってください」と後輩たちにメッセージを送った。

森田昂佑君

森田昂佑君(3-7)は「世界史しりとりはおすすめるのでやってみてほしい」と勉強のアドバイスを送った。

松井拓真君

松井拓真君(3-5)は「甲子園という大舞台に恐れ

を抱いたり委縮するのではなく、冷静に落ち着いて頑張ってください」とアドバイスを送った。

太田剛志君

太田剛志君(3-6)は「3月にまたみんなで甲子園に行けるのが楽しみ。甲子園のスタンドをもう一度真っ赤に染め上げたい」とセンバツ出場決定を喜んだ。また「緊張することは考えず、夢の甲子園でプレーできることの喜びを感じてほしい」と現役の選手にアドバイスをした。そして勉強面については「できる限りの範囲でいいから、数学を勉強しておいたほうが良い」と話した。

辻和彦君

辻和彦君(3-6)は出場が決定したときを「膳所が21

世紀枠で選ばれたときは、滋賀から3校出場できるとは思っていなかった。でも出場が決まり、とてもうれしかった」と笑顔で振り返った。また現役の野球部員に「部活は最後まで全力でやりきってほしい」とエールを送った。

藤野亮輔君

藤野亮輔君(3-6)は「センバツが開幕するまでの期間でチーム力をどんどん伸ばしていったほしい。そして伸ばしたチーム力で甲子園の舞台で勝利をつかんでほしい」と期待を込めた。

條野正宗君

條野正宗君(3-7)は出場決定の瞬間を「とにかくうれしかった。喜びを爆発させてひたすにはしゃいでいた」と笑顔で振り返った。また「キャッチャーとして後輩に伝えていきたいことはたくさんあるけど、今回はとりあえず楽しんで甲子園でプレーしてほしい」と頬を緩めた。

高村真湖人君

高村真湖人君(3-8)は

原晟也君

原晟也君(3-8)は「一緒に野球をしてきた後輩がセンバツ出場を決めたのはとてもうれしかった。夏の甲子園で後輩たちがスタンドで頑張っている姿を見ていたので、彼らが甲子園の舞台で戦う姿を早く見たい」と胸を躍らせた。また「部活と受験勉強の両立は難しいし、半年で国公立の二次試験に備えるのも難しいけど、一歩一歩足元を見つつ頑張ってください」とアドバイスを送った。

朝日新聞社彦根支局長 大野宏三さん

朝日新聞社彦根支局長の大野宏三さんは本校のセンバツ出場決定を「膳所高校が選ばれたときは滋賀から3校選ばれると予想していなかったのですが、出場は危ないかと思っていた。しかし出場が決まったときは『よかった』と安心した」と振り返られた。